

農をはぐくみ地域をつなぐ

みらいろ

7月号 2026
vol.125

未来への心をつなぐパートナー

特集

1 第11回通常総代会

2 みらいろプラン実績報告

- 02 若い力ー表紙の人ー
- 04 特集
 - ①第111回通常総代会
 - ②令和7年度
第4期みらいプラン実績報告
- 08 J-FAP蚕の桑取・桑かけを
初めてやってみました
- 09 食農教育って？
- 10 みらいのトピックス
- 14 あぐりすまいる
- 15 栽培講座
- 16 私の自慢の一品／セリ情報
- 17 DX通信／自己改革
- 18 営農情報
- 19 今日も現場で／イベント情報
- 20 女性部のかあちゃん直伝料理
- 21 営農指導員が教える！農畜産物紹介
- 22 みらい作品展
- 24 みらいマップ
- 26 元気にすくすく「みらいっ子」
- 27 みらいエール／私の食育日記
- 28 ドローンで見るふくしま未来
- 30 クロスワード
- 31 あなたもチャレンジ家庭菜園
- 32 もふもふ日和

人との結を力に、 支えあいの農業へ

若い力
わかしんカチカラ

■アルバイトから始まった農業の道
山形県の大学の農学部卒業後、JAのれん分け研修を受けて就農し、キュウリを栽培しています。実家は祖父の代まで農業を営んでいましたが、自身に農業経験はありませんでした。大学在学中、夏休みを利用して3年間さまざまな農家でアルバイトを経験し、農業の楽しさに触れました。そこで「自分に合っているかもしれない。挑戦してみたい」との思いが芽生え、卒業後は研修を経て実家近くの農地を借り、キュウリ栽培を始めました。キュウリを選んだ理由の一つは、地区の機械共選場が整備されていたことです。調製や選果作業の負担軽減が期待できると考えました。農業は思っていた以上にタフで、なかなか予定通りにはいきません。それでも、自身の体調管理はもちろん、キュウリの樹を弱らせず病気を防ぎながら、高品質なキュウリづくりを目指しています。

■人との「結」を大切に
栽培したキュウリはすべてJAに出荷しています。キュウリの樹に負担をかけないように、葉取りや枝の管理などをこまめに行い、品質の維持に努めています。農業は一人ではできない仕事です。地域のベテラン農家や研修先の先輩方に支えられながら日々栽培に励んでおり、人との「結（ゆい）」を何よりも大切にしています。また、自分が学んできた技術や経験を人に伝えることの難しさも感じていますが出荷量が目標に達した時の喜びがやりがいです。

表紙の人

安達地区／二本松市

根本 優大 さん (26)

就農歴：2年目
品目・面積：キュウリ
露地 30a 雨よけ栽培 12a
おすすめの：醤油とにんにくで漬けた
食べ方 漬け物！
辛みそで食べるのももちろんおいしい！



収穫に期待！



かん水作業を行う根本さん



高品質なキュウリ栽培のため葉かきをする



育ったキュウリを収穫

現在は雨よけ栽培にも取り組んでいます。作業に追われ、「10分でも惜しい」と感じるほど忙しい毎日ですが、支えてくれる人たちへの感謝を忘れず、将来的には師匠に続く生産者となるよう、技術の向上と栽培面積の拡大、出荷数量増加を目指していきたいです。



【第11回通常総代会】

5月29日、福島市のパルセイロいざから第11回通常総代会を開催しました。総代1000名のうち、書面出席を含む972名が出席。令和7年度事業報告や令和8年度事業計画など全5議案と付帯決議が可決・承認されました。

三津間一八組合長は「世界情勢や

異常気象など先行きの見通しが立たない状況が昨今続いている。このような状況の中でも地域農業を守るのが我々の絶対的使命だ。組合員の想いに寄り添い、信頼されるJAを目指し、地域社会を次の世代に伝えていく」と力強く述べました。

議 案

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
報告事項 令和7年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について
- 第2号議案 令和8年度事業計画の設定（自己改革工程表含む）について
- 第3号議案 令和8年度における理事及び監事の報酬について
- 第4号議案 規約附属書役員候補者推薦会議運営規程の一部変更について
- 第5号議案 宅地等供給事業実施規程の一部変更について

付帯決議

1. 決議事項中行政庁の認可、承認等を必要とするものについて、総代会の決議内容を変えない字句等の変更は、理事会に一任する。
2. 事業計画の変更については、年度途中でその一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会においてその変更をなすことができることとする。

報告事項 「JAバンク基本方針」の変更について

経営理念

未来への心をつなぐ パートナー “農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、誠実・確実に果たしてまいります。

- 一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。
- 一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。
- 一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。
- 一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。

【令和8年度 事業計画】

基本方針

農業とJAを取り巻く環境は、人口減少・高齢化の進行、担い手不足の深刻化、気候変動の常態化、資材・エネルギー価格の高止まりなど、構造的かつ不可逆的な変化の局面にあります。加えて、改正「食料・農業・農村基本法」の施行を受け、食料安全保障の確保、環境との調和、生産性向上と持続可能性の両立が、地域農業とJAにこれまで以上に強く求められています。令和8年度は、中期経営計画「第4期みらいプラン（令和7～9年度）」の中間年度に位置づけられる重要な年であり、初年度に着手した各施策を検証し、成果創出に向けて加速させるとともに、最終年度を見据えた経営及び組織体制の再構築を進める要の年度となります。

このような中、あらためて「協同組合の理念」を職員エンゲージメントと組合員教育の中枢に据え、職員同士が支え合うチーム制及びファミリーサポート体制を整えることで、働きがいと働きやすさを両立した職場環境に導き、持続可能な人材確保と組織内外における協同活動の実践力向上を図ります。

また、JA版早期警戒制度への対応を形式的なものにとどめなく実質化するとともに、AI・DXの活用による業務改革と組織変革を一体的に推進し、自己改革実践サイクルを「回す」段階から、「成果として定着させる」段階へとステージアップをめざします。組合員及び地域社会と力を合わせ、中長期的な視点のもと事業と組織を一体で磨き上げ、「次代につながる日本一の産地づくり」と、それを支える持続可能な経営基盤の確立に取り組み、「食と農のユートピア創造」を着実に前進させてまいります。

1. 食料・農業戦略

（中間年度の視点…施策の定着と成果の見える化）

- 農業経営意向調査結果を踏まえた営農類型別支援と多様な農業の担い手育成支援
- 土壌分析センターを核とした環境配慮型・データ活用型営農指導の展開
- 品目別チーム制による指導連携強化とJAコネクト普及拡大・情報発信
- 農業関連施設の更新・整備計画の具体化と販売体制一元化への段階的移行
- 適正価格形成に向けた生産コストの見える化と販売力強化の取り組み推進

2. 地域くらし戦略

（中間年度の視点…連携の実効性向上と活動の質

的転換

- 12市町村との包括連携協定に基づく事業の深化と食農教育の展開
- 国際協同組合年（IYC2025）の理念を継承した協同組合運動の実践と啓発活動
- 施設利活用による地域拠点機能の強化と地域活性化への貢献
- 基礎組織、協力組織等の自主的・主体的運営による組織活動の活性化

3. 経営基盤強化戦略

（中間年度の視点…組織変革と改革の加速）

- チーム制及びファミリーサポート体制の構築
- AI・DXを活用した業務運営の高度化
- 施設の再編・利活用に関する中長期方針の整理と合意形成
- 自己改革実践サイクルの徹底とJA版早期警戒制度に対応した経営管理の高度化
- 営農経済部門収支均衡対策の検討（販売・購買手数料の検討）

4. 広報戦略

（中間年度の視点…共感と参画によるブランド力の向上）

- SNS情報発信強化と組合員参加型広報の推進
- 他産業や他地域との連携強化による消費者への発信強化
- 「JAふくしま未来」ブランド向上と次世代・地域住民への浸透促進

【言葉の定義】

職員エンゲージメント

「職員が理念と経営方針に共感し、組織の成果に主体的に関与する状態」

チーム制

「業務を個人に依存せず、複数名で支え合う協同型の業務運営体制」

ファミリーサポート体制
「職員のライフステージに応じ、組織全体で支え合う相互扶助の職場体制」



▲議長を務める山岸由美子さん◎と笠原一夫さん



▲議案を承認する出席者

優 績 組 合 員 等 表 彰

日頃、事業運営にご協力を頂いている組織代表者及び組合員の皆様に感謝の意を表するとともに、組織基盤の強化並びに組合員とJAの一体的事業運営を進めることを目的に表彰する。

◆事業推進功労者表彰（敬称略、順不同）

- 本店運営委員会
前委員長 阿部興一
前副委員長 穴戸忠男
前副委員長 本間健一
- 本店部会連絡協議会
米穀部会 前会長 佐藤保彦
- 本店農産物直売所代表者連絡協議会
元会長 井上林一
元会長 後藤義昭
前副会長 國分新司

◆販売事業優績組合員表彰

- 福島地区
鈴木茂博、佐藤富夫、菱沼長司、伊藤由英
- 代表取締役社長 菅野孝志
- 伊達地区
梅宮夏子、菅野慎一、関根和志
- 代表取締役 佐藤 健
- 安達地区
青野一彦、熊田克弘、斎藤信幸
- 代表取締役社長 齋藤信幸
- 安達地区
半沢宣孝、松本次男
- 代表取締役 齋藤 健
- そうま地区
坂下耕一、戸村真也、水戸崇宏
- 代表取締役 前田一郎
- 株式会社 南都ニューファーム
- 代表取締役 前田一郎
- 株式会社 南都ニューファーム
- 代表取締役 平田三男

◆購買事業優績組合員表彰

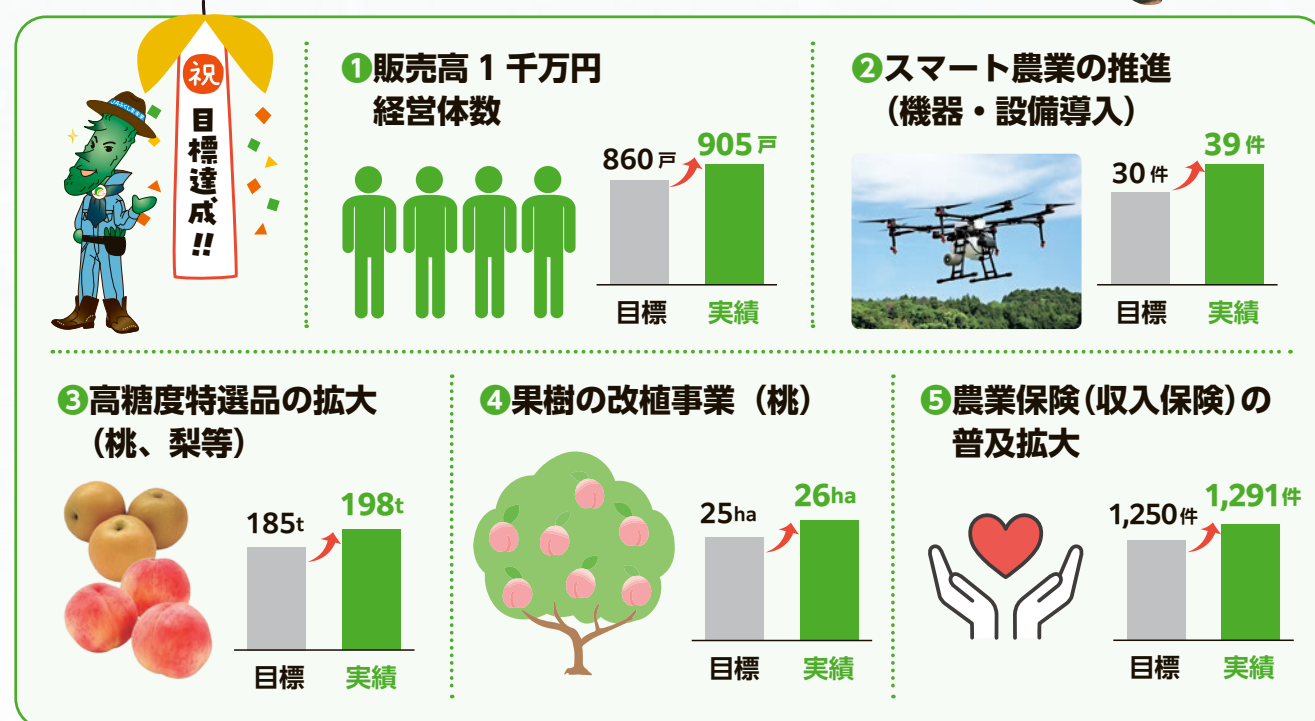
- 福島地区
渡辺健介、高田 薫、早川康之、野崎宗一
- 代表取締役 菱沼農園
- 株式会社 菱沼農園
- 代表取締役 菱沼健一



▲表彰を受ける佐藤さん

3 持続可能な農業経営に向けた、各種取り組みの成果

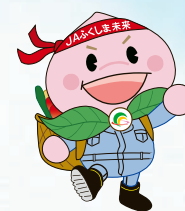
当JAでは、主要目標以外にも多角的な視点で地域農業の支援を行っています。『販売高1千万円以上の経営体数』は目標を上回る905戸へ拡大し、省力化を図る『スマート農業機器・設備導入』も39件と着実に進展しています。また、品質面では『高糖度特選品』の出荷量が198tに達し、付加価値の高い産地づくりが加速。桃の改植事業（26ha）等による生産基盤の若返りや、災害リスクから農業経営を守る『農業保険』の加入拡大（1,291件）も目標を達成し、力強い農業の実現へ向けた成果が表れています。



4 持続可能な地域農業を守る！労働力確保と援農・副業の取り組み

農業従事者の高齢化や離農による労働力不足は深刻な課題です。地域農業の生産基盤を維持するため、当JAでは職業紹介事業や1日農業アルバイトアプリ『デイワーク』の活用を推進し、令和7年度は目標の3,000名を大きく超えるのべ**『3,916名』**の労働力マッチングを達成しました。

さらに踏み込んだ労働力確保対策として、就業規則を改正し、JA職員が自ら『副業』として管内の農家で援農支援を行える体制を整備しました。本年度はこの取り組みに加えて日本郵政グループとの初の共同企画が実現し、県北地方の郵便局員とJA職員計24人が、特産『あんぽ柿』の原料柿収穫作業を体験しました。参加された郵便局員の方からは『普段の業務とは違う体験で新鮮だった。地域の農業に貢献したい』との声が寄せられています。こうした異業種との連携や、職員自らが現場に出向く援農支援は、単なる労働力不足の解消にとどまらず、農作業の経験を通じて組合員の皆様とのコミュニケーションを深め、より強い信頼関係を構築する絶好の機会となります。今後も枠組みを超えた多様な人材の力を結集し、持続可能な地域農業の実現を目指してまいります。



令和7年度 第4期 みらいろプラン 農業振興実績報告

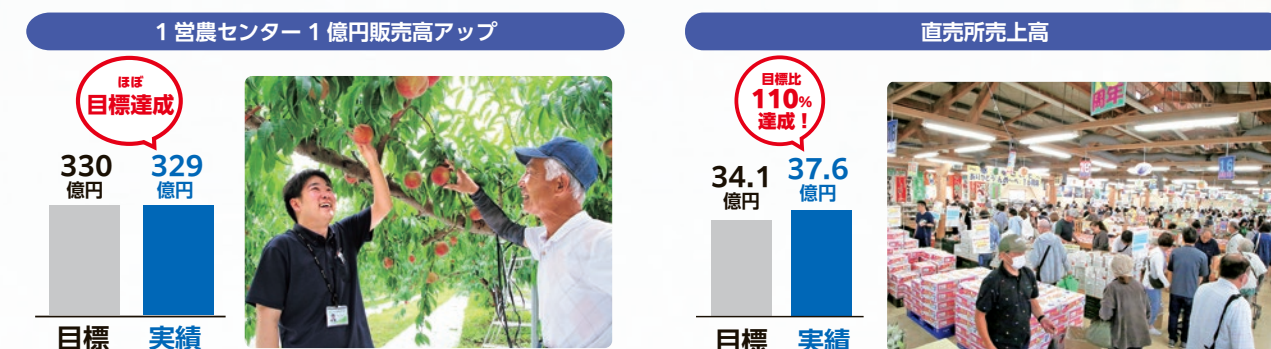


～地域と共に“一歩先へ”食と農のユートピア創造に向けて～

JAふくしま未来はおかげさまで誕生から10年の節目を迎えました。令和7年度を初年度とする第4期「みらいろプラン」および「地域農業振興計画」に基づき、私たちは農業を基軸として地域の皆様と共に持続可能で安全・安心な未来を築くため、営農・経済事業に全力で取り組んでまいりました。令和7年度の主要な実績をご報告いたします。

1 販売単価の向上と再生産価格の確保を目指して

農業者の所得増大と生産基盤の維持・拡大は当JAの重要使命です。肥料など生産資材高騰の中、生産者の皆様が安心して再生産できる価格確保を目指し、『1営農センター1億円販売高アップ』を掲げ有利販売に取り組んできました。令和7年度は販売高329億円の実績を上げ、直売所売上高も目標を大きく上回る37.6億円を達成しました。今後も付加価値を高めた販売で農業所得10%アップに挑戦し続けます。



果樹は高温渇水の影響を受けたものの米・畜産は高値で推移。

2 未来へつなぐ担い手育成と、環境に優しい農業の実践

農業技術継承
次代の農業を担う新規就農者の育成は急務です。当JA独自の『のれん分け方式』等を通じ、令和7年度は目標を大きく上回る75名の新規就農者を確保しました。さらに『みどりの食料システム戦略』に呼応し、環境配慮型農業を推進。『土壌分析センター』を活用した土壌分析は2,358点に上り、科学的データに基づく適正施肥で生産コストの低減と環境保全の両立を実現します。



技術の継承で未来へつなぐ
親農家の技術と想いを、次世代の担い手へ。



野菜の苗を育ててみよう



食農教育って？

「食」の大切さを伝える「食育」をパワーアップして、「食」を支える根本である農業に関する知識や経験を伝えるのが「食農教育」です。一般的な食育活動に加え、様々な農業活動を知って、体験して、これらが担う価値を学んでもらいます。

そうま地区



野菜の苗を
植えてみよう♪



お世話もがんばり
ましょう！



晴天の下で
話を聞きます



そうま地区本部は本年度、24の小学校と6の幼稚園で食農教育事業を実施しています。2025年度は延べ154回、3,862人の児童に授業を行いました。野菜苗やバケツ稲の生育を学んだり、米粉料理やおにぎり作りなどに取り組むことで、子どもたちの農や食に対する理解を深めることを目指します。

相馬市立大野幼稚園では、園児3人がサツマイモやミニトマトなどの野菜苗の植え付け作業を行いました。地域支援課の職員が植えるコツや収穫までの管理方法を説明しました。園児は、職員の話をよく聞き、プランターに丁寧に苗を植え、「苗からトマトの匂いがする！」と歓声を上げていました。

今後は職員が定期的に巡回して生育を確認し、園児は水やりなどの世話を行って収穫までの成長を確認します。

イベント名 野菜苗植え
開催日 2026年5月25日
開催場所 相馬市立大野幼稚園



J・F・A・P蚕の桑取・桑かけを
初めてやってみました。

J・F・A・Pメンバーが「色々なことに挑戦します」

vol.
28

今月の
J・F・A・P
メンバー



きやか
咲也香

J・F・A・Pの咲也香が初めて蚕の桑取と桑かけを体験しました。蚕を育て、繭を生産する「養蚕」農家は年々減少しており、現在福島県に残るのはわずか10戸です。今回は50年以上福島県の養蚕を守り続けている二本松市の安斎孝行さんに教えていただきました。

安斎さんは約30万匹の蚕を飼育し、500kgの繭を生産しています。蚕への給桑（桑を餌として与える）は、最盛期には1日3回600kgにのぼります。毎日手作業で桑を取り、桑畑と蚕室を何度も往復して給桑します。

良い蚕を育てるために桑を育てる土づくりからこだわっていると聞き、とても驚きました。太い桑を手作業で切るのには力が必要で、1日に何度も作業を繰り返す安斎さんの苦労が伝わりました。蚕は、桑を食べて成長しながら20日〜1カ月ほどで繭を作り上げます。

農家は減少しても、私たちの世代が学び、伝えることが養蚕を守ることにつながります。皆さんにも福島の養蚕を知ってもらえたらうれしいです。

Let's
Try!



生産者：安斎孝行さん(安達地区)



左：手作業での桑取は大仕事
右：質の良い桑が良い繭を作ります



JAふくしま未来の農畜産物PR隊「J・F・A・P」が生産者の方々に教えてもらい、初めて色々なことに挑戦します♪



誌面では見られない
撮影風景はこちらから！

YouTube「みらいろチャンネル」
詳しいチャレンジ動画を公開中！





▲開所に合わせて神事に出席した関係者



▲テープカットを行う三津間組合長（左から4人目）ら

地域のニーズに応える

原町営農センター オープン

6月15日

南相馬市の地域農業を支える新たな拠点となる原町営農センターを開所し、業務を始めました。従前の営農センターと2つの購買店舗を統合したことで、営農相談や農業資材の対応機能を備え、地域の生産者を支える施設として活用が期待されています。

旧原町購買店舗周辺で行われているバイパス道路の整備に伴い、店舗の移転が必要となったことから建設が決まりました。また南相馬市では、担い手の確保や農地の維持などが課題となる中、組合員から支援機能の集約と充実が求められてきました。今回の開所により、資材の供給と営農支援を一体的に進めることが可能となり、利用者の利便性向上に期待が高まっています。三津間一八組合長は「震災からの完全復興に向けて施設を最大限に活用し、地域農業の振興と組合員の期待に応えるため全力を尽くす」と話しました。

大玉村立大山小学校

6月2日

JAバンクおかねの教室

大玉支店は、大玉村立大山小学校の5年生54人を対象に、金融教育プログラム「JAバンクおかねの教室」を開催しました。JA職員が講師を務め、児童たちはゲーム形式でお金の役割や正しい使い方について学びました。特に農家経営の目線を取り入れたクイズでは、計画的なお金の使い方について深く考える貴重な機会となりました。参加した児童は、「お金を計画的に使うことの大切さを実感した」と話しました。



▲授業を受ける児童ら

福島交通が運行

6月1日

路線バスでJAふくしま未来をPR

JAの広告を掲示した福島交通の路線バスが、今年6月から1年間、福島県内を走行します。地域に密着した公共交通機関を通じて、通勤通学中の地域住民などに広くPRします。広告には「JAふくしま未来」のロゴマークとオリジナルキャラクター「みらいろ4兄弟」が描かれています。担当者は「路線バスを通じてJAにより親しみを持ってもらうきっかけになればうれしい」と期待を寄せています。



▲JAの広告を掲示した福島交通の路線バス
(右から高木正勝専務、加藤光一常務)



▲あいさつする三津間組合長



▲販売について協議する関係者ら

販売高394億早期達成へ

青果物・花き共販推進会議

6月8日

福島市で2026年度青果物・花き共販推進会議を開きました。地域農業振興計画の中間年度として、販売高394億円の早期達成に向け、事業方針や各品目の生育状況、販売情勢などを共有しました。三津間一八組合長は「豊作と高値での販売を目指し、関係機関と連携して目標達成できるように努めたい」とあいさつしました。

昨年実施した生産費調査の結果をもとに、再生産可能な販売価格の要請を行いました。また、ひょう害を受けた桃の懸念にも触れ、市場へは例年通り正常果の安定流通に努めるとして、販売や消費拡大への協力を求めました。市場関係者は「生産者の再生産可能な価格を意識しながら販売を進める」と応じ、産地情報の迅速な共有や適期収穫によるロスの軽減をJAに求めました。



33年連続の名誉

「献上桃の郷・桑折町のモモ」 販売開始セレモニー 献上桃決定通知交付式

6月1日・9日

ふるさと小包「献上桃の郷・桑折町のモモ」のカタログ販売が始まりました。同商品は、皇室へ献上される桑折町産桃の知名度向上と販路拡大を目的に昨年度から販売を開始し、約3,000箱を全国に届け、消費者から好評を得ました。今年も福島県内や東京都、宮城県、栃木県、茨城県の郵便局で申し込みを受け付け、全国へ桑折町産桃の魅力を発信します。

桑折営農センターの桃が、皇室に献上される「献上桃」に33年連続で選ばれました。桑折町役場で「献上桃決定通知交付式」を開き、長年にわたり高い評価を受けてきた産地の取り組みに、今年も期待が寄せられました。半澤正志理事は「33年連続という数字は生産意欲にもつながっていく。また気持ちを改めて生産していきたい」と話しました。



▲テープカットを行う高橋宣博桑折町長ら



▲決定通知書を手にする半澤理事㊦

生活に彩りを

女性大学 「花コース」開校

6月18日

そうま地区本部は、女性大学「花コース」を開校しました。本年度は13人の女性部員が受講を申し込んでいます。「花コース」では、寄せ植えやポーセラーツなど、花にまつわる様々な講座を開き、日々の生活に彩りを添える学びの機会を提供します。初回の講座ではフラワーアレンジメントを行い、参加者は出来上がりを想像しながら、思い思いの作品を完成させました。



▲フラワーアレンジメントを楽しむ参加者

伝統産業を後世へつなぐ

養蚕を守る 安斎孝行さん

6月5日

全国的に養蚕業が衰退する中、管内に残る養蚕農家はわずか10戸になりました。二本松市の安斎孝行さんは、約50年にわたり養蚕を営み、現在も約30万匹の蚕を飼育し、500キロ以上の繭を生産しています。6月下旬の繭の出荷に向けて蚕の世話に励む安斎さんは、毎日畑から桑の葉を取り、最盛期には1日3回、合計600キロを給桑します。安斎さんは「養蚕は単なる農業ではなく、伝統産業で文化ともいえる。大切に守っていききたい」と語りました。



▲蚕と安斎さん

伊達地区モモ生産部会

市場情報交換会

6月1日

伊達地区モモ生産部会は、本年度の桃出荷計画を昨年度比111%となる6200トンとする方針を示しました。情報交換会には関係者約50人が出席し、ブランド力の向上や有利販売に向けた連携を確認しました。大橋克之部会長は「今年度の桃は核障害が平年に比べて非常に少なく、病害虫の発生も少ない。生育は良好だ。ひょうの被害を受けた果実も含め、目標達成に向けて一丸となって取り組みたい」とあいさつしました。



▲あいさつする大橋部会長

女性部福島地区

エルダー部会 全体交流会

6月17日

女性部福島地区本部エルダー部会は、福島市の摺上亭大鳥にて全体交流会を開催し、部員58名が参加しました。冒頭、氏家チ子部会長が健康維持の重要性と活動継続への意欲を語り、西條正美福島地区本部長からも温かい期待の言葉が寄せられました。当日は健脚をテーマにした実技や、歯周病予防の講話を通じて健康について深く学びました。仲間づくりと健康づくりを通じ、部員同士の絆をより一層深める一日となりました。



▲体操をする女性部エルダー部会会員



▲テープカットを行う関係者ら



▲新たな共選設備

小菊の販売拡大へ市場関係者にPR

花き部会 トップセールス

6月11日・12日

花き部会は、仙台と札幌の市場でトップセールスを実施しました。渡辺国稔部会長や高木正勝専務らが訪問し、主力品目である小菊を中心に、管内産花きの品質の高さや生育状況を直接PRしました。生産者の丁寧な管理により、今年は生育も順調です。品質の安定と計画的な出荷を徹底し、前年比126.7%の伸長と、花き全体で10億円規模の販売を目指します。全地区が結束して産地基盤を強化し、市場の期待に応えていきます。



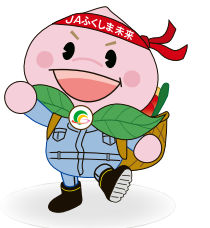
▲市場関係者にPRする高木専務ら

選果能力向上で産地強化へ

国見共選場モモ選果設備が 竣工式

6月18日

伊達地区の国見共選場でモモ選果設備竣工稼働式を開きました。三津間一八組合長や生産者、行政、市場関係者、JA役職員ら29人が出席し、新設備の完成を祝うとともに、安全稼働と産地発展を祈願しました。従来の4レーンから3レーンへと規模は縮小したものの、機能性の向上により選果精度の向上や作業の省力化、労働負担の軽減が期待され、年間1900トンの処理を計画しています。三津間組合長は「新設備を有効に活用し、産地の維持・発展と市場ニーズに合った出荷による有利販売につなげていきたい」とあいさつしました。



福島市立庭坂小学校

梨の生産学習

5月28日

福島市立庭坂小学校の3年生55名を対象に「庭坂ふるさと学習」を開催しました。県内有数の梨産地である同地区の農業への理解を深める目的で、毎年実施しています。今回は梨栽培をテーマにした学習の2回目として、児童たちは梅津信一さんの園地を訪問しました。摘果後の梨を観察しながら、梅津さんから栽培管理や生育状況について詳しく説明を受け、児童たちは熱心に耳を傾けていました。



▲梨について学ぶ福島市立庭坂小学校の児童



1 栽培歴（露地普通）

○播種 ▲定植 ■収穫

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
早生種	○—○	▲—▲		■—■				
中生種	○—○	▲—▲		■—■				
越冬栽培		○—○	▲—▲			■—■		

○施肥量10aあたり(成分量) 基肥 N15kg P18kg K15kg 追肥 N10kg K5kg

○栽植密度10aあたり 4,000～4,500株 条間60～70cm 株間30～40cm

○追肥 定植後14日後に1回目、定植後40日後に2回目を実施しましょう。(中耕を兼ねて行う)

○土壌PH PH6.0～6.5の弱酸性を好みます。根こぶ病多発の場合は6.5以上が望ましいです。

○水分 過湿に弱いので、水はけの良いほ場を選びます。連作は黒腐れ病の発生に注意します。

※省力施肥ならCDU682を使用することで、追肥作業の軽減が可能です。

(CDUは、微生物分解で肥料が効き始める緩効性肥料です。根焼けも軽減できる肥料です。)

※ブロッコリーは吸肥力が強いので、肥え切れを起こさないよう栽培するのがポイントです。

※早生品種は一斉収穫となるため、栽培面積に注意します。越冬作型は、アントシアニンに強い品種を選ぶと良いでしょう。

2 夏播きは、暑さ対策が必須！

○発芽適温 20～25℃ 生育適温 15℃～20℃

○播種対策 高温対策として白色ポットを使用します。育苗時は寒冷紗で覆います。(防虫ネット被覆も良いでしょう。)

○梅雨明け後の育苗は、西日の当たらない場所を選び、寒冷紗の上から散水し、気化熱による高温対策も有効な手段です。

※バイオスティミュラント資材(BS資材)の有効活用！

○BS資材とは、植物に備わっている高温耐性を、暑さが来る前に発現させ、暑さに備えるための資材です。HSPに作用するという文言が記載されている商品がお勧めです。

※HSPとは、ヒートショックプロテインの略です。

頂花蕾の収穫

側枝花蕾の収穫



頂花蕾の収穫(上から10～12cm下方の位置で切る)側枝は発育の初期段階にある。



頂花蕾の収穫後、側枝花蕾が急速に発育するので花蕾粒があまり大きく発育しないうちに収穫する。

3 病害虫防除 チョウ目類、花蕾腐敗病を中心に総合的に防除していく

○定植前の農薬散布(土壌処理剤)については、根こぶ病や黒腐れ病対策を中心に行いましょう。

○チョウ目類防除は、育苗時に1回、定植後1週間後に1回、その後3週間に1回の目安で薬剤散布をしましょう。

○花蕾腐敗病は、花蕾の一部に濃緑色で水浸状の病斑が現れ、やがて淡褐色や黒褐色になって腐敗する病害です。症状が進行すると、花蕾全体が腐敗し消失します。

○花蕾腐敗病の病原菌は複数あり、病原菌によって腐敗しても悪臭がしないものと、かなりの悪臭を放つものがあります。高温時に発生しやすく、特に連作により発生が多発します。

○防除は薬剤耐性を持たせないため、ラックコードを確認し作用点(同じ番号)が同じ農薬の連用は避けるようにしましょう。ラックコードの確認は営農センターへお問合せ下さい。

※育苗後期～定植直前に灌水登録がある農薬を選択すると高い防除効果を得ることができます。

※農薬は散布前に、登録情報を必ず確認し、ドリフトに十分注意し散布しましょう。

4 収穫 早朝収穫で鮮度保持、斜め切りにし痛みの発生を防ぐ

花蕾が15cm前後になったら収穫適期です。

側枝花蕾を収穫する場合は場合は、頂花蕾収穫を送れないように注意します。

(頂花蕾収穫時点で、既に側花蕾の芽が出ていることが多い)

Profile

安達地区/二本松市田沢

門馬 恵さん(47)

●リンドウ6a、大玉トマト17a、
和牛繁殖8頭、水稲17a

▲門馬さんの育てたリンドウ



▲家族で楽しく農作業

毎日が学び、毎日が喜び

植物の成長を日々そばで見られることに、幸せを感じる毎日。農業は初めての体験の連続で、毎日が勉強だと話します。苦手なへびに驚かされることもありすが、それも畑仕事の一場面。これからはリンドウの作付面積を広げ、さらに挑戦を重ねていきたいと意欲を見せています。

初めての収穫を前に

本格就農して2年。家族で営む農業の中で、リンドウを主に担当しています。近所の生産者に教わりながら栽培を始め、花だけでなく葉も商品になるリンドウだからこそ、病気に気を配り、ほ場の整備も丁寧に行っています。初めての収穫を前に、思いはふくらみます。

「DX」という言葉が出てきた理由（時代背景②）

こんにちは。DX推進課の佐藤です。今回は、「効率化」や「省力化」といった取り組みが広がってきた背景についてお伝えしました。

効率化は、同じ仕事をより少ない時間で進めるための大切な取り組みです。しかし近年は、それだけでは対応しきれない場面が増えてきました。仕事で扱う情報は増え続け、手続きや確認も複雑になっています。また、人手の確保が難しくなっていることもあり、作業を少しずつ改善するだけでは追いつかないことがあります。

そこで注目されるようになったのが、仕事の進め方や仕組みそのものを見直すという考え方です。従来の「効率化」が作業を改善する取り組みだとすると、「DX」は仕事のやり方全体をより良い形に見直していく考え方といえます。もちろん、第1回からお伝えしている通り、これまでのやり方をすべて変えるということではありません。続けるべきことは大切にしながら、負担が大きくなっている部分や、より良い方法がある部分について見直していくことが重要です。その際に役立つ手段の一つがデジタルです。情報の共有や管理をしやすくなり、同じ作業を繰り返さなくて済むようにしたりと、仕事を支えるための様々な活用方法があります。

DXという言葉が広く使われるようになったのは、単なる作業の効率化だけでなく、仕事の仕組みそのものを見直す必要性が高まってきたためです。人手の確保が難しくなる中では、一部の人の経験や工夫だけに頼るのではなく、組織全体で業務を支えられる仕組みづくりも重要になります。

今回は、なぜ今「誰でも進めやすい仕組み」が求められているのかについてお伝えします。

デジタルトランスフォーメーション

DX通信

まずはできることから

vol. 3

DX推進課（佐藤）



●お問い合わせは お近くの営農センターまで

Cows' Profile

名 前
アマリア ローリー リンダ

生年月日
2025年5月18日

畜 種
ホルスタイン種

性 別
メス

畜産農家
福島地区／福島市佐原

きくた やすまさ
菊田 育政さん(69歳)

自慢ポイント
病気もせず、すくすく育って
れていて、扱いやすくなり
わいらしい牛です。自慢のお気に入り
の一头です。

My finest
私の
自慢の
一头
NO. 05

自己改革

～次代につなぐ日本一の産地づくりと仕組みづくり～



只今、
実践中!!

効率化店舗（よりそい店）の取扱業務と営業時間の変更

JA では再編計画に基づき、令和8年6月より伊達地区の一部店舗において取扱業務の一部変更と営業時間を変更いたしました。

【対象店舗】 ・保原支店「よりそい大田店」 ・桑折支店「よりそい伊達崎店」
・国見支店「よりそい森江野店」

【変更日】 令和8年6月1日（月）

【営業時間】 9：00～11：30 / 12：30～15：00
〈11：30～12：30 まで昼休み〉



※共済業務全般が母店対応となりました

各種お知らせは母店からご案内させていただきます。
よりそい店では、相談業務となります。

未来への心をつなぐパートナー“農をはぐくみ 地域をつなぐ”みなさまの評価・応援が私たちの力になります！

■JAふくしま未来実績（開催日／6月3日・4日）

単位：円（税込）

性	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	64	781,464	883,300	627,000	319	2,450	289	785,336	-3,872
去	80	914,801	1,049,400	610,500	339	2,699	285	924,673	-9,872
計	144	855,540	1,049,400	610,500	330	2,593	286	862,243	-6,703

■福島県家畜市場（開催日／6月3日・4日）

単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	311	310	752,595	941,600	134,200	305	2,471	287	778,062	-25,467
去	365	365	890,075	1,056,000	445,500	332	2,682	285	912,142	-22,067
計	676	675	826,936	1,056,000	134,200	319	2,590	286	852,369	-25,433

■乳牛せり市場（開催日／6月18日）

単位：円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
登 録 牛	0	0	0	0	0	0	177,100	-177,100
E T 和 雌	2	470,250	562,100	378,400	85	5,565	508,934	-38,684
E T 和 雄	3	665,134	699,600	598,400	100	6,674	614,350	50,784
乳 雄 牛	2	110,550	220,000	1,100	70	1,591	172,385	-61,835
その他雄（スモール）	1	397,100	397,100	397,100	80	4,964	0	397,100
F 1 雌（スモール）	16	345,332	434,500	52,800	70	4,947	316,474	28,858
F 1 雄（スモール）	23	404,466	467,500	352,000	80	5,028	386,772	17,694

乳和牛・
せり情報





今日も
現場で。

FIELD
VOICE
[41]

野田支店ライフアドバイザー (LA)
えん どう か おり
遠藤 香織 さん(36歳)

渉外担当歴 LA6年目。
趣味：体を動かすこと

組合員からのコメント

遠藤さんは、いつもハキハキとしていて、対応がとても丁寧です。明るい笑顔も印象的で、その表情や受け答えから、人柄のよさがよく伝わってきます。安心して相談できる方だと感じています。

努力はウソをつかない

子どものころにソフトボール部で教わった大切な言葉です。うまくいかない時も練習を重ねた先に結果がついてきた経験があり、社会人になった今も前向きな気持ちを支えてくれています。

イベント情報
2026.7月

共通イベント

ふくしま桃の日 7月13日(月)・26日(日)・8月8日(土) 共選品 5kg 通常価格より 300円引き
ももまつり 7月20日(月・祝)～26日(日) 共選品全階級 通常価格より 200円引き

こちら

月曜日～火曜日 ジュース特売日
火曜日 仕入れ品特売日
火曜日～木曜日 卵の日
水曜日～木曜日 乳製品特売日
木曜日～金曜日 納豆の日
金曜日～日曜日 肉の日
土曜日・日曜日・祝日 米特売

みらい百彩館 んめ～べ

みらいフェスタ
7月11日(土)・12日(日)
はっぴーくじ引き
7月19日(日)
※毎週土曜日開催のお魚の日は
7/11～8/15までお休み

月曜日 んめ～べの日
火曜日 牛乳の日
水曜日 たまごの日
木曜日 お米の日
金曜日 お肉の日
0のつく日 納豆の日
8のつく日 パンの日

こらんしょ市

お客様感謝まつり
7月11日(土)・12日(日)
加工品フェア
7月18日(土)
～20日(月・祝)



月曜日 こらんしょ市惣菜の日
火曜日 牛乳の日
水曜日 A-coop 商品の日
木曜日 お肉の日
金曜日 飲料水の日
土曜日 麺の日
日曜日 餅の日
10日 納豆の日

旬のひろば・ふれあい旬のひろば

月曜日 農協乳製品の日 金曜日 LINE 友だち 5%割引

誤飲を防ぐため、**施錠**された
場所に保管する等**保管管理の徹底**



誤飲防止のため
移し替えは厳禁！

確認しよう！**農薬ラベル**による
使用基準の徹底確認



使用前に必ずラベルで
作物名・使用方法・防護装備の
確認をしましょう！



土壌くん蒸剤を使用した
後の**適切な管理の徹底**

看板の設置等
周囲に配慮

土壌くん蒸剤
立ち入り禁止



住宅地等で農薬を使用する
際の**周辺への配慮及び**
飛散防止対策の徹底

近隣住民への
事前告知



正しく扱うことが
一番お得です！

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和 8 年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

営農指導員が教える!!

おいしい

「桃」の選び方

監修：伊達地区営農経済課
遠藤正弘

今月の 農畜産物 桃

桃は「仙果」や「仙桃」とも呼ばれ、中国では不老長寿の象徴にもなっています。これから旬を迎える福島の桃を食べて、酷暑を乗り切りましょう！

旬の時期

早生種の旬は6月下旬から始まります。中生種は主力品種「あかつき」が7月中旬から下旬まで楽しめます。晩生種は8月中旬から9月上旬に旬を迎えます。

保存方法

硬い桃は常温で追熟させましょう。熟した食べ頃の桃は、食べる2時間ほど前に冷蔵庫に入れて冷やすか、10分ほど前に氷水に漬けておくとおいしく食べることができます。

選び方

全体的に着色がはっきりとした桃を選びましょう。色づいている部分に「果点」と呼ばれる白い斑点がある桃は、糖度が高くおいしい目印です。また、上から見たときに綺麗な丸い形をしており、割れ目に対して左右対称の桃がおすすめです。

（おまけ）効能

美容効果や便秘改善、高血圧や脳梗塞の予防、冷え性改善、二日酔い改善など、うれしい効果がたくさんあります。

お知らせ

JAふくしま未来では農畜産物に加え、さまざまな情報をInstagramで毎日発信中♪ぜひフォローとイイねをお願いします！

ふくしま未来農業協同組合 @ja_fukushimamirai



女性部の かあちゃん 直伝料理

ふくしまの
「おいしい」「楽しい」
届けます！

女性部
クッキング
NOKYO JOSEI-BU
COOKING

「夏野菜でほいどの天ぷら」と
「ご飯のおとも!ピリ辛なんばんみそ」

早川秀子さんと佐藤美保子さんが夏野菜でほいどの天ぷらとご飯のおとも!ピリ辛なんばんみそを紹介します。夏野菜をたっぷり使った福島の郷土料理「ほいどの天ぷら」。天ぷら鍋を使わず、少ない油で手軽に作れるのが魅力です。旬の野菜を無駄なく使えるため、家計にも環境にもやさしいSDGsレシピとしておすすめです。大葉と青唐辛子を使った夏らしい常備菜。ご飯が進むピリ辛味で、お弁当のおかずにもおすすめです。とっても簡単に作れっからみんなもぜひつくってみなしょ～

夏野菜でほいどの天ぷら

材料（4人分）

- ・新じゃがいも …… 2個
- ・なす …… 2本
- ・さやえんどう …… 5本
- ・青唐辛子 …… 1本
- ・めんつゆ …… 大さじ4
- ・水 …… 少々
- ・小麦粉 …… 大さじ3
- ・水（水溶き用） …… 大さじ3
- ・サラダ油 …… 大さじ1

作り方

- ①じゃがいもを一口大に切り下茹でします。なす・さやえんどうは食べやすい長さに切り、青唐辛子はヘタを切りうすく輪切りにします。
- ②フライパンにサラダ油をひき、なす・さやえんどう・青唐辛子を炒め、ある程度火が通ったら、じゃがいもとめんつゆ・水を加えて煮ます。
- ③一旦火から下ろし、水で溶いた小麦粉を回し入れ、再び火にかけてかき混ぜます。
- ④水溶き小麦粉に火が通り、粘度がついてまとまりが出るまで煮ます。

ご飯のおとも! ピリ辛なんばんみそ

材料（つくりやすい量）

- ・大葉（大きい方がよい） …… 20枚
- ・青唐辛子 …… 2本
- ☆小麦粉 …… 120g
- ☆味噌 …… 大さじ3
- ☆砂糖 …… 小さじ1
- ☆サラダ油 …… 50ml

作り方

- ①青唐辛子のヘタを切りみじん切りにします。
- ②ボールに①と☆印の調味料を入れてよく練り合わせます。
- ③大葉の表面にティースプーン1杯分の②を乗せ、くるくる巻きます。
- ④フライパンで表面に焼目ができるまで両面を焼き、完成です。

POINT

- 小麦粉が焦げないように火加減に注意します。
- 大葉に巻くときは棒状にすると巻きやすくなります。



伊達地区 伊達総合支部

佐藤 美保子さん 早川 秀子さん



大葉に巻くときは棒状にすると巻きやすくなります。

動画公開中

YouTube
「みらいチャンネル」

詳しい調理動画を公開中！



女性部に関するお問い合わせは、総務部地域支援課 TEL 024-573-1004 伊達地区地域支援課 TEL 024-575-0100 まで



鈴木 キミエさん (伊達市梁川町)



荒 万希子さん (南相馬市鹿島区)



岡本 家子さん (南相馬市鹿島区)



紺野 幸子さん (南相馬市小高区)



鈴木 恵美子さん (伊達市保原町)



今野 廣子さん (南相馬市鹿島区)



今村 久子さん (伊達市保原町)



清野 八智子さん (伊達市保原町)



加藤 洋子さん (二本松市)



穴戸 フミさん (桑折町)



羽田 アエさん (福島市)



橋 美知子さん (伊達市梁川町)



浅野 不二男さん (桑折町)



夜ふかしさん (国見町)



山田 ひで子さん (伊達市保原町)



佐藤 ヒサ子さん (伊達市保原町)



荒 操さん (南相馬市鹿島区)



YKさん (桑折町)



志賀 美津子さん (南相馬市原町区)



野田 好子さん (伊達市保原町)



大町 久子さん (伊達市保原町)



太田 雄子さん (相馬市)

短歌・俳句・川柳

短歌

夫入院三週間の面会は
行きは元気に帰りはしよんぼり
池田 トキノさん (南相馬市小高区)

草取りでおでこが虫に刺れたか
みるみる腫れるさあ葉
阿部 京子さん (福島市)

万緑の恵みたつぷり身に受けて
人情の和に笑顔こぼるる
渡辺 絹子さん (福島市)

若葉萌万緑の里山郭公の声
澄み渡り若夏の一ページ
深澤 隆利さん (桑折町)

冷蔵庫開けて「空っぽ」と言う夫
龍城なりと知らぬ顔
西戸 妙子さん (伊達市)

孫上京さだ節唱う老婆おり
普通で良いぞ気楽に学べ
穴戸 マリ子さん (福島市)

チマキまつ熊鈴つけて笹を取る
喜ぶ孫へ祖母のプレゼン
二瓶 久子さん (福島市)

繰り返す世界に紛争絶え間なし
愚かなるかな人間の性
佐久間 喜夫さん (二本松市)

リハビリに「九ちゃん」の歌皆でうたう
我は上むき涙こらえる
森谷 悦子さん (福島市)

高校の部活仲間と近場の湯
巡る思いは喜寿を過えても
平田 一さん (南相馬市原町区)

野馬追の行列の中陣笠の
小さき乗り手に和む声援
大内 由美子さん (南相馬市鹿島区)

中国が攻めて来ぬ様宮島で
瀬戸内海を「川」と案内して
清水 義宏さん (相馬市)

沿道に今年も花を満開に
地域を彩るマリーゴールド
佐藤 久吉さん (川俣町)

俳句

竹のこや俺の天下と天を突く
齋藤 宏二さん (福島市)

ごくり飲む音受け止めて夏茶碗
小田 慶喜さん (明石市)

紫陽花にかくれんぼする孫の笑み
小田 和子さん (明石市)

山すべて濃緑みごと出る元氣
安齋 健壽さん (福島市)

電線に五羽の子つばめ巣立ち待つ
富田 直子さん (水戸市)

ナフサより聞きなじんでいるナフタリン
佐藤 邦子さん (福島市)

曇天や咲き分け美事皐月かな
志賀 方次さん (南相馬市原町区)

燕の子口開け鳴きて餌もとめ
松坂 義秀さん (南相馬市原町区)

竹皮をするりと脱ぎて青天へ
加藤 よし子さん (伊達市霊山町)

麦畑風にゆさゆさ出穂の波
夏山 繁樹さん (福島市)

うら屋根につがいのツバメ家作り
幾世永 米子さん (南相馬市小高区)

川柳

黄昏やナス苗2本鉢にうえ
佐藤 文子さん (伊達市保原町)

民話聞く遠い想い出母の声
遠藤 ゆうこさん (二本松市)

誇らしくふりかざす鞭相馬野馬追
志賀 美恵子さん (郡山市)

勝つてね！子の声援に金の杯
鴨原 美智子さん (二本松市)

トマト苗わき芽で増しおすそ分け
草野 育雄さん (南相馬市鹿島区)

粗食でも腹ペコならば御馳走だ
佐野 敏雄さん (伊達市梁川町)

新緑の笹取り鈴つけ旧端午
阿部 カツ子さん (福島市)

ドドドンと上がる御神旗騎馬勇む
豆仁丹さん (南相馬市鹿島区)

電線で何んの相談かカラス達
市山 カツエさん (国見町)

老々介護昔にもどり家でみる
今野 純子さん (新地町)

「久しぶり」縁を感じる巡り合い
平間 勝成さん (南相馬市原町区)

軒下でつばめくるかとへびが待つ
幾世橋 初男さん (南相馬市鹿島区)

嫁姑と新鮮野菜直売所
鈴木 光子さん (伊達市保原町)

文月の暑さの中に秋近し
渡邊 等さん (国見町)

繋がり来た道行く道環境づくり
佐藤 良子さん (本宮市)

言いそいで匠者なら言わぬまた来てね
山本 松太郎さん (本宮市)

一家には女もない光りない
佐藤 忠良さん (二本松市)

久しぶり友の笑顔に夏野菜
南エツ子さん (桑折町)



絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。
住所・氏名(ペンネーム可)・年齢・連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。**応募締切は7月21日(火)必着です。**
応募多数の場合や編集の都合により、すべての作品を掲載できない場合がございます。あらかじめご了承ください。
短歌、俳句、川柳にご応募の方は、作品の種類をご明記ください。
〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1 JAふくしま未来「みらいろ作品展」係



大蔵寺(小倉寺観音)

弘仁8(817)年、坂上田村麻呂が東北鎮護のために行基菩薩の作といわれる千手観音を安置したのが始まりと伝わっています。一本のカヤの木から作り出された高さ4mの千手観音は、国の重要文化財に指定されています。

施設情報

住 所 ▶ 福島市小倉寺字拾石7
T E L ▶ 024-523-5215



おやつのじかん

手作りのお菓子と、こだわりのコーヒーや紅茶が楽しめるカフェ。福島の果物を使った季節のスイーツが並び、毎週変わるメニューも魅力です。

施設情報

住 所 ▶ 福島市小倉寺前野16-1
営業時間 ▶ 10:00~16:00
(ランチ11:00~14:00)
定 休 日 ▶ 日、月、火曜日
T E L ▶ 024-522-6426



QUO CAFE

世界一幸せな動物「クオッカ」がモチーフの「クオカフェ」。1952(昭和27)年に建てられた家屋を改装したカフェです。木の温もりを感じる落ち着いた空間で、ハンドドリップコーヒーや紅茶、自家製スイーツを楽しめます。

施設情報

住 所 ▶ 福島市渡利薬師町99
営業時間 ▶ 11:00~17:00 (LO.16:30)
定 休 日 ▶ 日、月、火、第3土曜日

営業日はInstagramをご確認ください。



福島地区
渡利地域

みらい マップ



当JAの支店職員が地元のおすすめスポットやお店などを紹介します。今回は渡利支店の職員が管内を散策しました!

おでかけエリア



くらしのワンポイント 自転車の交通ルール ご家族で確認したい交通安全のポイント



通勤・通学だけでなく、買い物や地域活動などで自転車を利用する機会は身近にあります。万が一事故を起こした場合、高額な賠償責任を負うケースもあります。2026年4月から始まっている「青切符制度」とあわせて、自転車の交通ルールを確認してみましょう。

①自転車事故でも加害者になる場合があります。

ルールを守らず運転すると相手にケガをさせてしまうなど、加害者になることがあります。

②高額賠償となる事例があります。

(賠償の例) 〈賠償金〉9,521万円

男子小学生(11歳)が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭蓋骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。(神戸地方裁判所、2013年7月4日判決)

③2026年4月開始の青切符とは?

交通違反に対して簡易迅速に処理し、違反者に前科がつくことなく実効性のある責任追及を可能とする制度です。

一反則行為一

- 通行区分違反 ● 指定場所一時不停止等
- 無灯火 ● 傘差し運転 ● イヤホン使用運転
- 歩道徐行等義務違反 ● 並進禁止違反

※16歳以上が対象

確認しよう!

☐ ヘルメットを着用していますか

☐ ながらスマホやイヤホン運転をしていませんか

☐ お子さんやお孫さんとも一緒にルールを伝えよう

自らを守るためにもヘルメットの着用を心掛けましょう

自転車は便利な乗り物ですが一歩間違えば重大な事故につながります。ご自身はもちろんご家族やお孫さんの安全のためにも今一度交通ルールを確認しよう!

私の食育日記



子どもの亜鉛不足を防ごう

食育インストラクター 岡村麻純

先日、知人から「わが子の体調が良くないので病院へ行ったら亜鉛不足ではと言われました。亜鉛って何ですか?」と相談を受けました。

亜鉛は金属類の元素で、鉄と同じように必須微量元素と呼ばれています。私たちの生命維持に必要不可欠な働きをしています。体内で生成することはできず、食事からの摂取が必要です。この必須微量元素の中では日本人が不足しがちな鉄が注目されていますが、近年はインスタント食品や加工食品の活用により、亜鉛不足も増えているそうです。

亜鉛不足は大人だけでなく、子どもにも見られます。亜鉛不足になると、下痢や貧血、味覚障害、爪に白い斑点ができるなどの症状が出るというわれています。このような体調不良だけでなく、亜鉛は細胞の生まれ変わりやDNAの合成などに関わっており、子どもが背を伸ばす、体重を増やすなどに



体の成長に欠かせない栄養素でもあります。

厚生労働省「日本人の食事摂取基準」を見ると、亜鉛は8歳から9歳では推奨量が男女共に1日に5・5mgなのに対して、10歳から11歳は1日7・5mg、8・0mg、12歳から14歳になると8・5mgと、一気に体が大きくなる時期に摂取推奨量が多くなります。体の成長に欠かせない存在であることが分かります。

亜鉛を多く含む食品には、牡蠣や煮干し、牛肉、卵、チーズ、納豆などの大豆製品があります。日々の生活に取り入れやすい食品も多く、またビタミンCが多く含まれる食材と一緒に食べると亜鉛の吸収率が上がるとされています。

一方、インスタント食品や加工食品は亜鉛が少なく、亜鉛の吸収を妨げる成分が入っているといわれることもあります。

忙しい日々において加工食品は救世主ですが、朝食にチーズを加えてみる、肉を焼く、納豆ご飯や目玉焼きをそえるなど、手間暇かけない簡単なメニューでも亜鉛不足を防ぐことができ、子どもの成長の力になります。時々加工食品から簡単調理に置き換えてみましょう。



「みらいっ子」では、希望者の方を対象に公式YouTube「みらいっ子チャンネル」への投稿および公式「Instagram」に掲載いたします。



福島地区



たくさん食べて元気に育ってね

渡利支店

三本杉 潔さん、真央さんのお子さん

芽郁ちゃん(2歳)

安達地区



笑顔がかわいい!! 大きく育ってね☆

二本松南支店

齊藤 義一さん、幸子さんのお子さん

凛汰郎くん(1歳)

そうま地区



ひいばあちゃんと初めての野馬追観戦!!

相馬中村支店

持舘 マサ子さんのひ孫さん

太田結望ちゃん(7ヶ月)

伊達地区



たくさん遊んで元気に育ってね

梁川支店

菅野 公紀さん、由佳理さんのお子さん

菱暁くん(4ヶ月)

滝のつり橋

ドローンで見る
ふくしま未来

65

〈福島地区(福島市土湯温泉町)〉

温泉街の近くを流れる東鴨川に架かる吊り橋。

橋の上からは、豊かな自然に守られた溪谷の絶景を眺めることができます。吊り橋に向かう途中には、足湯「土ゆっこ」があり、休憩することができます。

<https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone>
JAふくしま未来 ドローン動画集

ホームページで
動画もご覧
いただけます。



Instagramフォロー & いいね! で応募完了! ふくしま桃の日記念日プレゼントキャンペーン

ふくしま桃の日を記念して「ふくしま桃の日プレゼントキャンペーン」を開催します。応募者の中から抽選で5名様に「桃 特秀品」をプレゼントします!

応募期間 2026年7月3日金～2026年7月31日金まで

応募方法 ①JA公式Instagram「ふくしま未来農業協同組合」をフォロー

②ふくしま未来農業協同組合「ふくしま桃の日キャンペーン」投稿にいいね!
※非公開アカウントやメッセージ受信拒否設定のアカウントからの応募は対象外となります
※すでにフォローの方も参加可能です

プレゼント内容 抽選でJAふくしま未来「桃 特秀品」5名様にプレゼント

当選者発表 DMにてご連絡いたします。

皆さまからの応募お待ちしております!

お問い合わせ先
JAふくしま未来企画部広報課
TEL: 024-573-7121
E-mail: koho@ja-f-mirai.or.jp

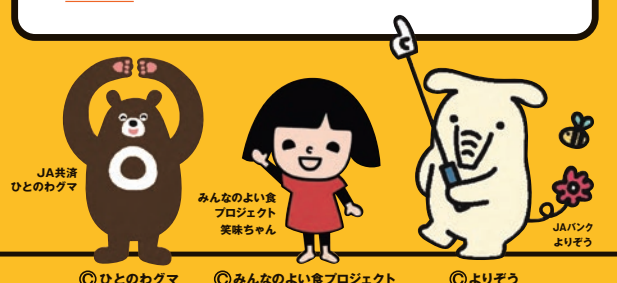


※写真はイメージです

JA から大切なお客様へ

重要なお知らせ

お客様の大切な現金等重要物をお預かりする際は、**電子サイン受領または受取書・領収書等の手交を必ず実施しております。**



JA共済
ひとのわぐま

みんなのよい食
プロジェクト
美味ちゃん

JAバンク
よりぞう

©ひとのわぐま

©みんなのよい食プロジェクト

©よりぞう

第11回

JAふくしま未来伊達地区 組合長杯ゴルフ大会

日時 令和8年9月5日(土) 午前8時38分スタート

場所 パーシモンカントリークラブ(伊達市霊山町)

募集人員 30組×4名=120名

参加資格 伊達地区管内に居住・管内の事業所に勤務する者で、JA事業利用者

募集方法 広報誌、ホームページ、チラシ掲示、ゴルフクラブ会員への通知ほか

参加費等 参加費3,000円、プレー代13,890円(セルフ・昼食代含む)

お問合せ先 伊達地区地域支援課 TEL:024-575-0100



家庭菜園

あなたも
チャレンジ

JAの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい!」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪

第5回は、「エンドウ～マメ科の連作を避け、酸性土を改良する～」です。

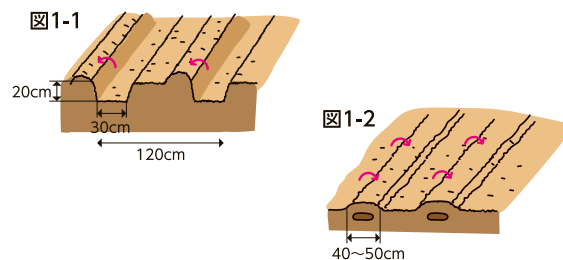
エンドウには若いさを食べるサヤエンドウ、実が大きくなり、みずみずしいさやのスナップエンドウ、若く充実した豆を取る実とりエンドウがあり、それぞれ目的に応じた品種を使います。発芽適温は18～20℃、生育適温は15～20℃で、冷涼な気候を好みます。

step 01 品種

サヤエンドウでは「ニムラ白花きぬさや」、「砂糖エンドウ白星」、「あずみ野30日絹莢PMR」など、スナップエンドウでは「ニムラサラダスナップ」、「スナック753」などがあります。

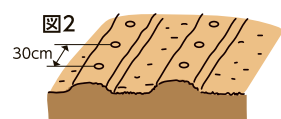
step 02 畑の準備

エンドウは同一の畑で連作すると生育障害が出やすくなります(いや地現象)。土壌酸度はpH6.0～6.5が適しているため、4、5年はマメ科を作っていない畑を選び、酸性土を改良しましょう。種まき2週間前に畑1㎡当たり苦土石灰100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。次に、1週間前に畝幅120cmを取り、幅約30cm、深さ約20cmの溝を掘ります(図1-1)。この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kgを入れ、土とよく混ぜて幅40～50cmの畝を作ります(図1-2)。



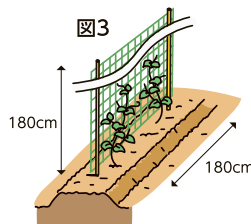
step 03 種まき

中間地では10月中旬～11月上旬が適期で、それより早まきすると年内に生育が進み過ぎ、寒害を受けることがあります。じかまきでは、株間約30cm、深さ2、3cm、1カ所4、5粒をまきます(図2)。発芽の頃に鳥害を受けやすいため、防寒を兼ねて不織布をべたがけして保護します。発芽がそろったら2本を残し、他は間引きます。なお、6～9cmポットで育苗する場合、1ポット3、4粒を深さ2、3cmにまき、間引いて2本にします。根鉢が形成された頃(本葉3、4枚)に植え付けます。



step 04 支柱立て・ネット張り

草丈が約10cmの頃、約180cm間隔に高さ約180cmの支柱を立て、キュウリネットを張り、できるだけ早く巻きひげをネットに絡ませます(図3)。



step 05 追肥

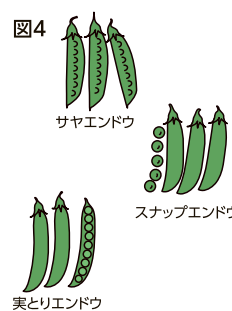
春先に生育の勢いが良くなり始めた頃と開花始め頃、畝の両肩に化成肥料を畝1m当たり約10g与えます。スナップエンドウ、実とりエンドウでは収穫期にも同様に追肥しましょう。追肥後は株元に土寄せをします。

step 06 病害虫防除

さやができる頃からハモグリバエが多発します。登録農薬などを使用基準に従って防除します。うどんこ病も登録農薬で予防します。

step 07 収穫

適期に合わせて収穫しましょう。サヤエンドウは、子実の肥大が始まる開花後15日前後に収穫します。スナップエンドウは、開花後25日前後に収穫します。さやが鮮緑色で厚みが約1cm、豆が肥大してさやの断面が円形に膨らんだ頃が目安です。実とりエンドウは、さやをむいたときに子実が軽く離れる頃に収穫します(図4)。



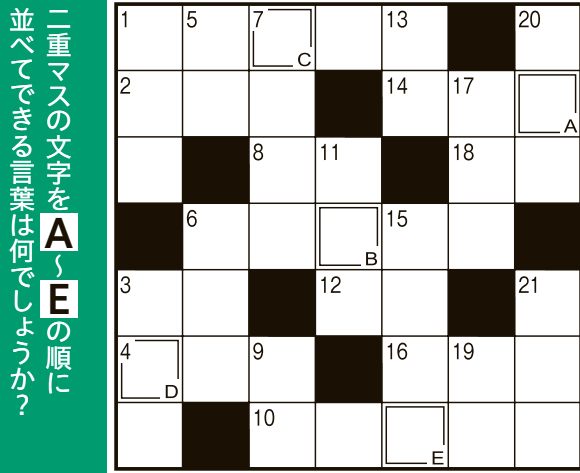
栽培カレンダー(エンドウ)

気候帯	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	備考
冷涼地						●	▲	■	■	■		早まきは苗作りをする
中間地	●							■	■	■		苗作りもできる
暖地		●						■	■	■		

● 種まき --- 苗作り ▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

クロスワードパズル



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

- 令和8年は8月7日。暦の上ではもう秋です
- 髪に結わえるもの
- タンスや机などのこと
- ギターは電気信号で音を奏でます
- 8月15日は——記念日。平和を祈念します
- 初対面の人に——紹介をした
- ハンバーグに入れるタマネギの切り方
- 多くは殻を持つ生き物。実はウミウシもこの仲間
- 炒った大豆をひいたもの
- 分度器で測ります
- 納豆が引くもの

タテのカギ

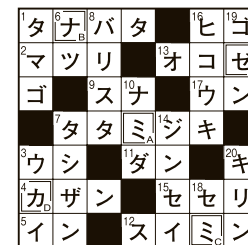
- 飛行機が飛び立つこと
- 田んぼでゲロゲロ鳴きます
- 土地の広さをあらわす単位のひとつ
- シャワシャワと蟬——が降り注ぐ
- パールともいいます
- ヒヨコのための栄養が豊富な部分
- 小銭入れに入れます
- ブイもこの仲間
- 北海道と青森を結ぶ——トンネル
- 野球の出場メンバーのこと
- 金づちで打ち込みます
- 嘘から出た——
- 盆——、阿波——

〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名
⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の問題等を記入の上、上記の宛先までご応募ください。

記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

応募締切
7月29日(必着)



正解者の中から抽選で「粗品」を10名様にお送りさせていただきます。

先月号の答え

ミナミカゼ

JAふくしま未来の概要

	令和8年5月末現在
組合員数(正)	45,175人
〃(准)	48,763人
役員数	52人
〃監事	8人
職員数	973人
准職員数	187人
出資金	16,589百万円

事業実績	
購買品供給高	3,780百万円
販売品販売高	5,190百万円
貯金高	749,150百万円
貸付金高	258,538百万円
長期共済保有高	2,290,122百万円

編集後記

4月から広報課に入りました佐藤です。私が最近頑張っていることは仕事です。最初は慣れないことが多く、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、毎日少しずつ経験を積むことで、できることが増えてきました。分からないことは先輩に聞きながら、一生懸命取り組んでいます。これからも健康に気を付けて、周りの人に感謝しながら頑張っていきたいです。(佐藤)



理事会報告

第3回理事会

日時/令和8年5月29日(金) 場所/パルセイりざか1階 第2会議室

協議事項

- 議案第1号 福島地区果実共選場建設委員会の設置(案)について
- 議案第2号 令和7年度行政庁業務報告書の提出について
- 議案第3号 安達地区の再編について
- 議案第4号 福島県常例検査指摘事項に対する報告(案)について

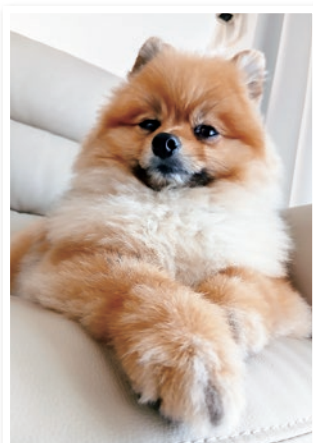
お詫びと訂正

「第11回通常総代会資料」に下記の誤りがございました。深くお詫び申し上げます。下記の通り訂正いたします。

ページ	正	誤												
143	<u>貸 借 対 照 表</u> 令和8年2月28日現在 みらいアグリサービス株式会社 (単位:円)	<u>貸 借 対 照 表</u> 令和8年2月28日現在 みらいアグリサービス株式会社 (単位:円)												
	<table><tr><th colspan="2">純資産の部</th></tr><tr><th>科 目</th><th>金 額</th></tr><tr><td>(うち当期純利益)</td><td>(6,478,329)</td></tr></table>	純資産の部		科 目	金 額	(うち当期純利益)	(6,478,329)	<table><tr><th colspan="2">純資産の部</th></tr><tr><th>科 目</th><th>金 額</th></tr><tr><td>(うち当期純損失)</td><td>(6,478,329)</td></tr></table>	純資産の部		科 目	金 額	(うち当期純損失)	(6,478,329)
	純資産の部													
	科 目	金 額												
(うち当期純利益)	(6,478,329)													
純資産の部														
科 目	金 額													
(うち当期純損失)	(6,478,329)													

もふもふ日和

犬・猫だけでなくペットの写真を募集しています。



スフィンクス

国見町山崎 2006 新卒さん

私が実際この家をまもっております。



ピヨ

福島市宮代 なべさん

有精卵をあためて生まれたので、
息子を親だと思って懐いています



プリン

伊達市川原町 りんりんさん

ボクもポテチもビッグサイズ!!



しなこ

南相馬市原町区 ムラさん

いっしょに居るだけで和みます。



茶々丸「退屈犬」

西白河郡西郷村 ちこたさん

「暇だな～」ちらっ



もぐもぐはむかつくん

相馬市馬場野 はむはむ親衛隊さん

ご飯を頬にいっぱい詰め込んでる
はむかつくんです

掲載された方には、
粗品を
プレゼントします♪

締切

2026年
7月21日火



投稿方法

読者の皆様から、愛するペットの写真を募集しています。郵送または 応募フォームのいずれかの方法で撮影した写真をお送りください。

※一人1枚のみ

※写真は、概ね3ヶ月以内に撮影したものを
ご応募ください

便せん、または応募フォームに

- ①氏名 ②ペンネーム ③住所
- ④電話番号 ⑤ペットの種類
- ⑥ペットの名前 または 写真のタイトル
- ⑦写真の簡単な説明 (30 字程度)
を明記してください。

●紙面の都合上、掲載枚数には限りがございますが
ご了承ください。

●投稿の際の個人情報は、広報誌への掲載並びに広
報に関する以外には使用いたしません。

投稿
大募集中♪



「JAふくしま未来ホームページ」へアクセスし、応募フォームへ必要事項を入力の上、写真を1枚添付しご応募ください。



郵送する際の宛先はコチラ▼

〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来 広報課「もふもふ日和」係

